年間授業計画　様式例

荒川工科 高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　保健体育　　科目 保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　E　組

使用教科書：（　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】身に付けた知識を実践できる能力をつける。

【思考力、判断力、表現力等】単に何かを覚えるのではなく、自分の生活に活かせる力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】基本的生活習慣を確立できる態度を養う。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
幅広い知識を習得し、自分の生活や実社会に活用できる力をつける。	課題を理解しコミュニケーションを取りながら、意思決定・行動選択ができるようにする。	受け身ではなく、授業に積極的に参加する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	（1）思春期における体の変化について説明できる。思春期の心の発達にかかわる健康課題が説明できる。	（1）思春期と健康 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	1
	（1）性意識の男女差を，具体例をあげて説明できる。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	（1）性への関心・欲求と性行動 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	2
	定期考査						
	（1）妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスをあげることができる。 （2）家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。	（1）妊娠・出産と健康 （2）避妊法と人工妊娠中絶 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	3
	（1）心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 （2）加齢にともなう心身の変化にはどのようなものがあるか説明できる。	（1）結婚生活と健康 （2）中高年期と健康 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	3
	定期考査						
2学期	（1）医薬品の正しい使用法について説明できる。 （2）さまざまな医療機関の役割について説明できる。 （3）保健行政の役割について例をあげながら説明できる。 （4）民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。	（1）医薬品とその活用 （2）医療サービスとその活用 （3）保健サービスとその活用 （4）さまざまな保健活動や対策 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	9
	（1）大気汚染の原因とその健康影響を説明できる。 （2）水質汚濁の原因とその健康影響を説明できる。 （3）環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明できる。	（1）大気汚染と健康 （2）水質汚濁，土壌汚染と健康 （3）環境汚染を防ぐ取り組み 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	8
3学期	（1）ごみの処理の現状や，その課題について説明できる。 （2）行政，生産・製造者による食品の安全のための対策について例をあげて説明できる。食品の安全のため，私たち消費者がおこなうべきことを例をあげて説明できる。	（1）ごみの処理と上下水道の整備 （2）食品の安全を守る活動に 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	4
	（1）働く人の健康問題が，どのように変化してきたかを説明できる。労働災害の防ぎ方についての原則を説明できる。 （2）職場がおこなう健康増進対策について例をあげて説明できる。余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。	（1）働くことと健康 （2）働く人の健康づくり 必要に応じてICT機器・プロジェクターの活用	【知識・技能】 小テスト・テスト 【思考・判断・表現】 グループワーク・コミュニケーション観察。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題への取り組み方・授業への積極性	○	○	○	2 合計 32